





適用規格						
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +105℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)		
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注3)		
	嵌合コネクタ	DF62#-2S-2.2C(##)	電 圧	AC/DC 250V		
	UL・C-UL 定格 	電 圧	AC/DC 250V		電 流	AWG#22 : 4 A/pin AWG#24 : 2 A/pin AWG#26-30 : 1 A/pin
		電 流	AWG#22 : 3A/pin AWG#24 : 2A/pin AWG#26-30 : 1A/pin			
使用温度範囲	-35℃～ +75℃ (注1)	適合端子	DF62-EP22PC* DF62-EP2428PC* DF62-EP30PC*			

性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	20mV 以下, 1 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。	30 mΩ 以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> 、持続時間 11 ms、正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 30mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 30mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—

備考

(注1) 通電時の温度上昇を含む。  
 (注2) 結露のないこと。  
 (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。  
 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用湿度範囲を適用。

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
 1	DIS-H-00019490	RI. GENDA	SZ. ONO	20231206
			承認	KI. AKIYAMA 20130921
			検 図	MN. KENJO 20130921
			担 当	TH. YOSHIKAWA 20130921
			製 図	TH. YOSHIKAWA 20130921
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番 SLC-349135-00-00		
	製品規格表		製品名 DF62P-2EP-2.2C	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード CL0544-0543-1-00	
				 1/1